

お買い上げありがとうございます。

# AVASTA

## 自転車取扱説明書

※図、及び内容はモデルですので届いた商品と異なる場合があります。

### 警告表示について

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するにあたり、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

|                                                                                               |                                                |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
|  <b>危険</b> | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い」内容です。 |
|  <b>警告</b> | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。           |
|  <b>注意</b> | この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

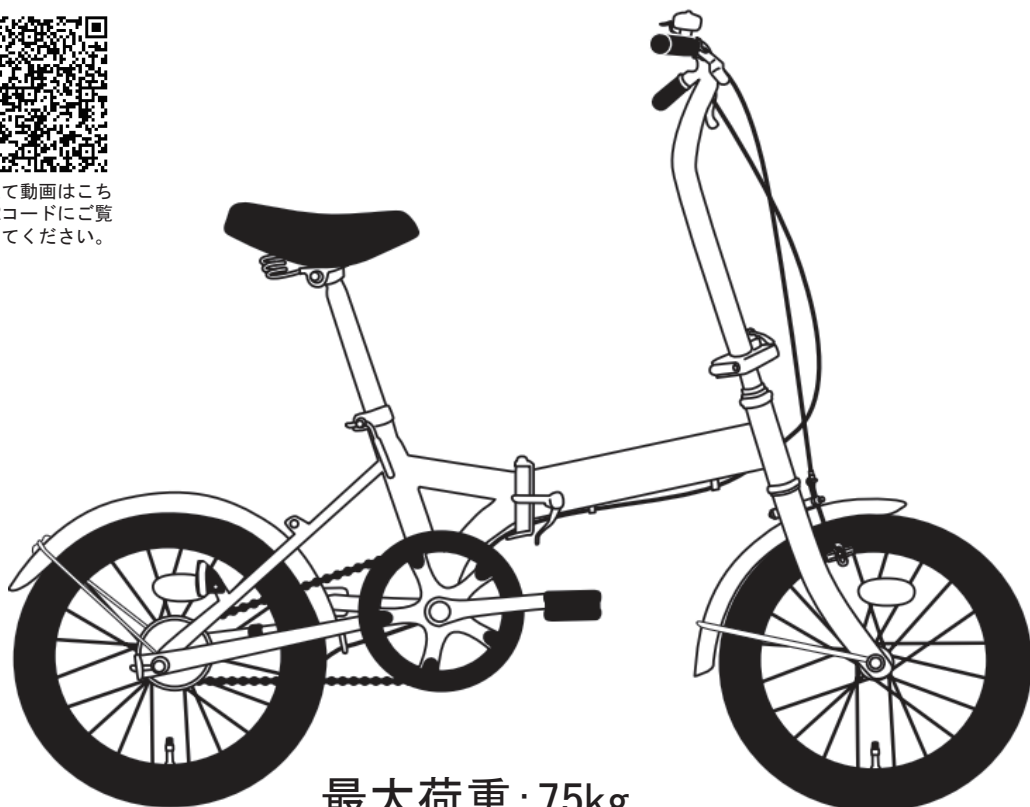
# 目次

|                        |       |
|------------------------|-------|
| ※対応Model:【2-step折り畳み式】 | 1-6   |
| フレームの組み立て              | 1     |
| ハンドルの固定                | 2     |
| サドルの固定                 | 3     |
| ペダルの取付け                | 4     |
| 前カゴの取付け                | 5     |
| チェンジギアについて             | 6     |
| ※対応Model:【1-step折り畳み式】 | 7-12  |
| ハンドルの取付けと高さの調整         | 7     |
| ペダルの取付け                | 8     |
| 折りたたみ方法                | 9     |
| 展開方法                   | 10-11 |
| フロントブレーキの調整方法          | 10    |
| リアブレーキの調整方法            | 11    |
| チェーンの張りを調整する方法         | 11    |
| サドルの傾きと高さの調整           | 12    |
| タイヤの空気の入れ方             | 12    |
| 自転車の乗車前チェック            | 13-14 |
| 保証について                 | 15    |
| 防犯登録について               | 16    |
| 販売証明書                  |       |

## 【2-step折り畳み式】



組み立て動画はこちらのQRコードにご覧になってください。



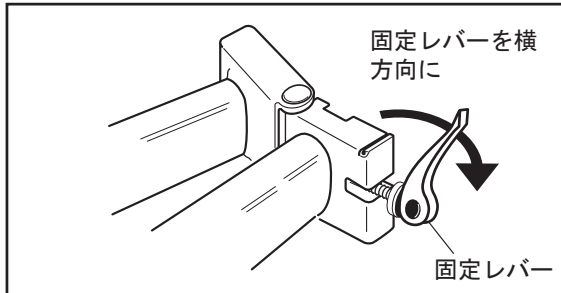
最大荷重: 75kg

★自転車のシリーズ名は、お届け時の梱包箱側面に記載しております。

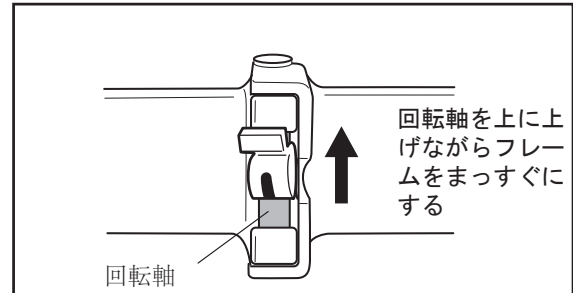
## フレームの組み立て

※注意：初めてフレームを開く際、接続部が硬くなっている場合がありますが、その際は体や服を挟まないように注意して頂いた上で床に寝かすなどして膝頭と両手を使い少し荷重を掛けてください。

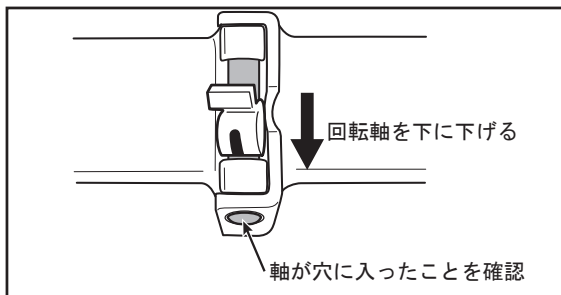
①固定レバーが折り畳み部に挟まれないよう横方向に向けます。



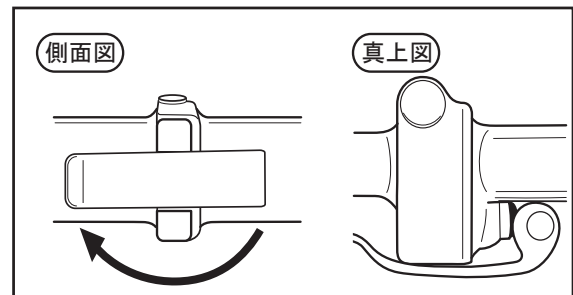
②固定レバー部を持ち、回転軸を上へ引き上げながらフレームをまっすぐにします。



③フレームがまっすぐになったら回転軸を下に下げ、二重ロック部の穴に回転軸が入っているかご確認ください。



④図のように固定レバーをセットし、フレームに沿わせて固定します。

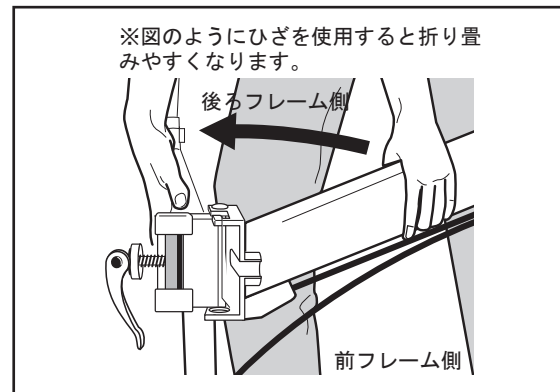
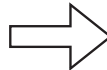
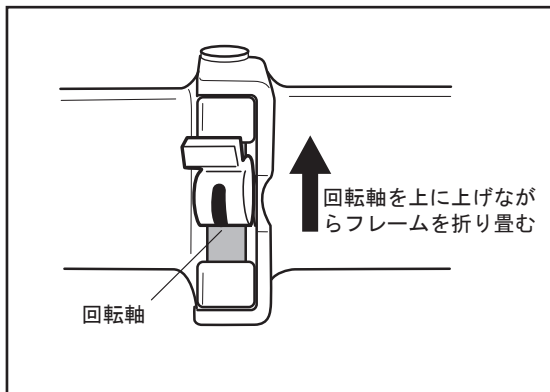


### ⚠ 注意

この際に固定がしっかりされていないと、走行中に固定が外れてしまう恐れがあり、大変危険です。充分に注意してください。毎回、乗車前には必ず固定具合を点検してください。

## フレームの折り畳み

固定レバーを解除して図のように横向きにし、回転軸を上へ引き上げながらフレームを折り畳みます。後輪を地面につけて両手を必ず使い、前輪を浮かせて前フレーム側をゆっくり回し、後ろフレーム側と平行にします。

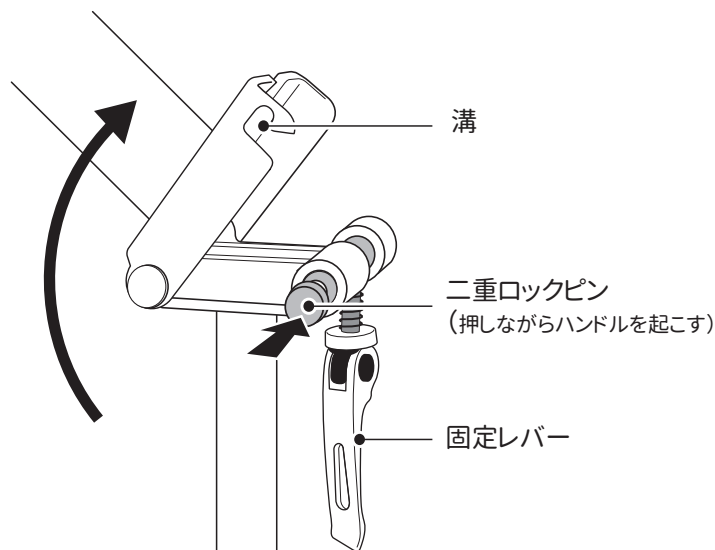


### ⚠ 注意

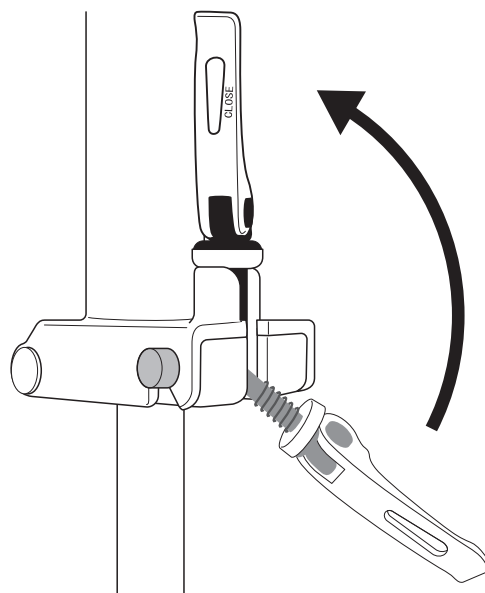
- 折りたたむ際ブレーキワイヤーを引っ掛けしないでください。
- 手を挟まないよう充分にご注意ください。また、ひざなどで折りたたむ場合、服を挟まないようご注意ください。

## ハンドルの固定

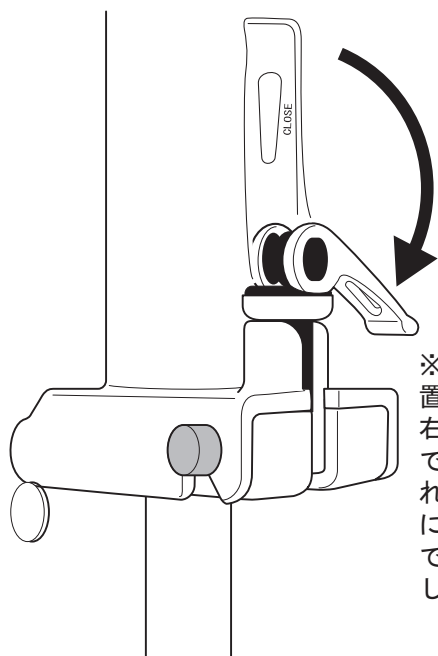
①二重ロックピンを押しながらハンドルを起こします。固定レバーが解除された（下向き）状態でもハンドルが折りたたまれないことを確認してください。



②二重ロックピンの固定を確認したら、固定レバーを上向きにします。



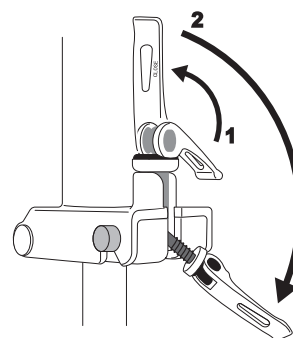
③固定レバーのCLOSE面が上になるよう、レバーをおろしてしっかりと固定します。



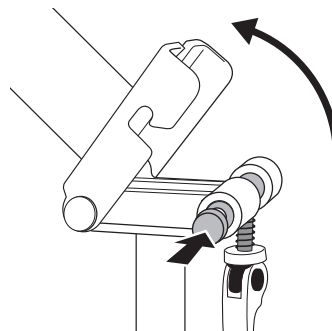
※図のレバーの位置は一例です。左右どちらでもよいですが必ず力を入れてレバーを確実に図のように固定できる位置で固定してください。

### 折りたたみ方法

①固定方法②～③を逆にいき、固定レバーを解除します。



②二重ロックピンを押しながら、ハンドルをゆっくりと倒します。



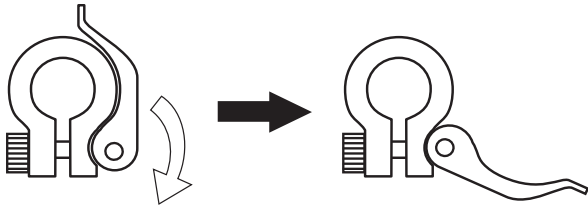
### ⚠ 注意

以上で固定は完了ですが、この際に固定がしっかりされていないと走行中に固定が外れてしまう恐れがあり、大変危険です。充分にご注意ください。毎回、乗車前には必ず固定具合を点検してください。

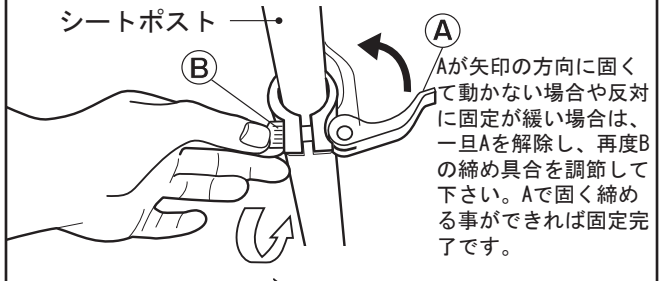
## サドルの固定

### ①サドルの固定レバーを解除します。

※この際、必ずサドルが落ちて手を挟まないよう、サドルを片手で持っておいてください。レバーを解除した状態のままサドルをお好みの高さにしてください。（但し、シートポストに刻印されている限界線が必ず隠れるようにしてください）



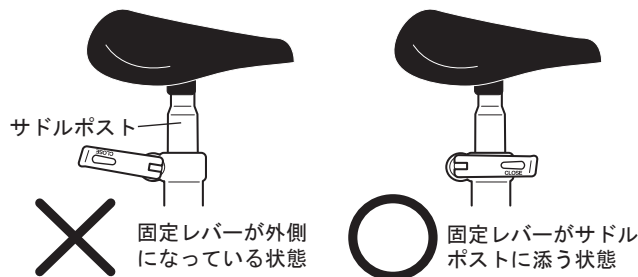
### ②サドルを固定します。サドルが落ちて手を挟まないよう、サドルを持った状態で固定レバーを戻す前にAレバーの対面のBを右回しにある程度回して下さい。Aレバーを矢印方向に完全に戻し、ロックして下さい。



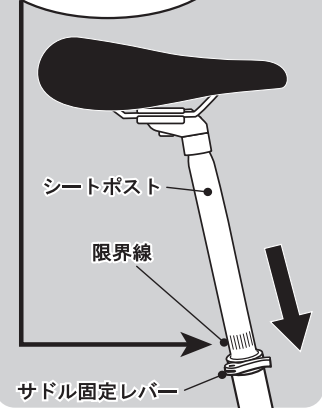
最初は金具がなじんでおらず固定しにくい場合がありますので、固定作業を2~3回繰り返して下さい。また、Bが回転しにくい場合はペンチなどをご使用ください。

### ⚠ 注意

固定がしっかりされていないと、レバーが足にあたりバランスが崩れたり、また、走行中に固定が外れ事故・ケガのおそれがあり大変危険です。必ず固定レバーはサドルポストに添うように内側へ入るよう固定し、毎回乗車前には必ず固定具合を点検してください。

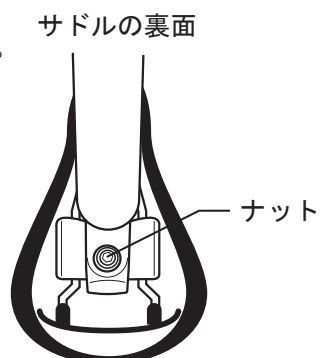
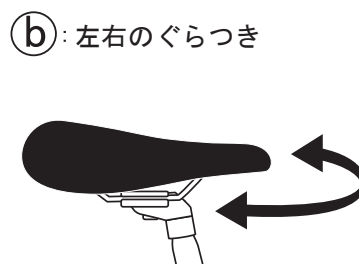
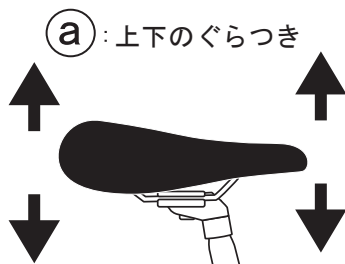


限界線が隠れる位置まで下げること!!



### ④点検 サドルの固定確認

サドルを固定した状態で上下左右にぐらつきがないか確認してください。

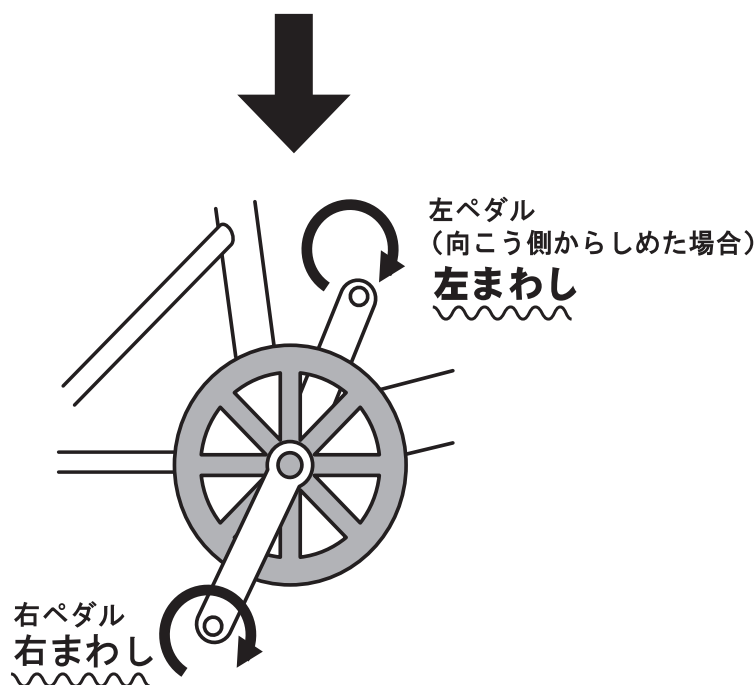
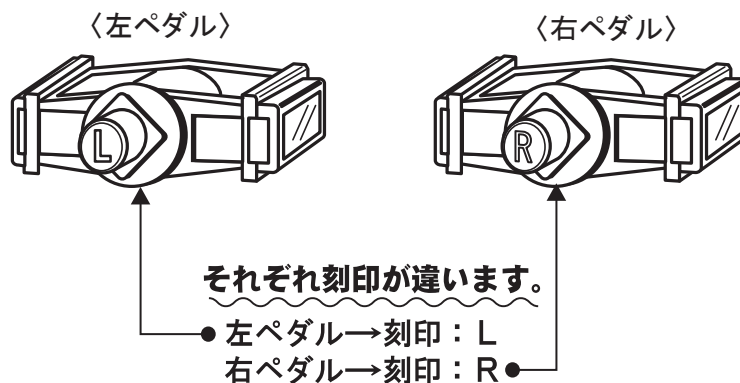


上記でぐらつきが出る場合は再度サドルの固定方法の部分をやり直してください。それでも上下のぐらつきがある場合はサドル裏面のナットの緩みが考えられます。この場合は自転車店でしめなおしを行ってください。

## ペダルの取付け

左右それぞれのペダルを固定します。まず、左右のペダルの違いを確認していただき、右ペダルは右回しに  
左ペダルは左回しに専用レンチでしっかりと固くしめつけてください。

【ペダル側面図】



**！ 最後までしっかりと、強くしめつけてください。**

不十分な取り付けでの走行は大変危険です。必ずしっかりと取り付けてください。

### ⚠ 注意

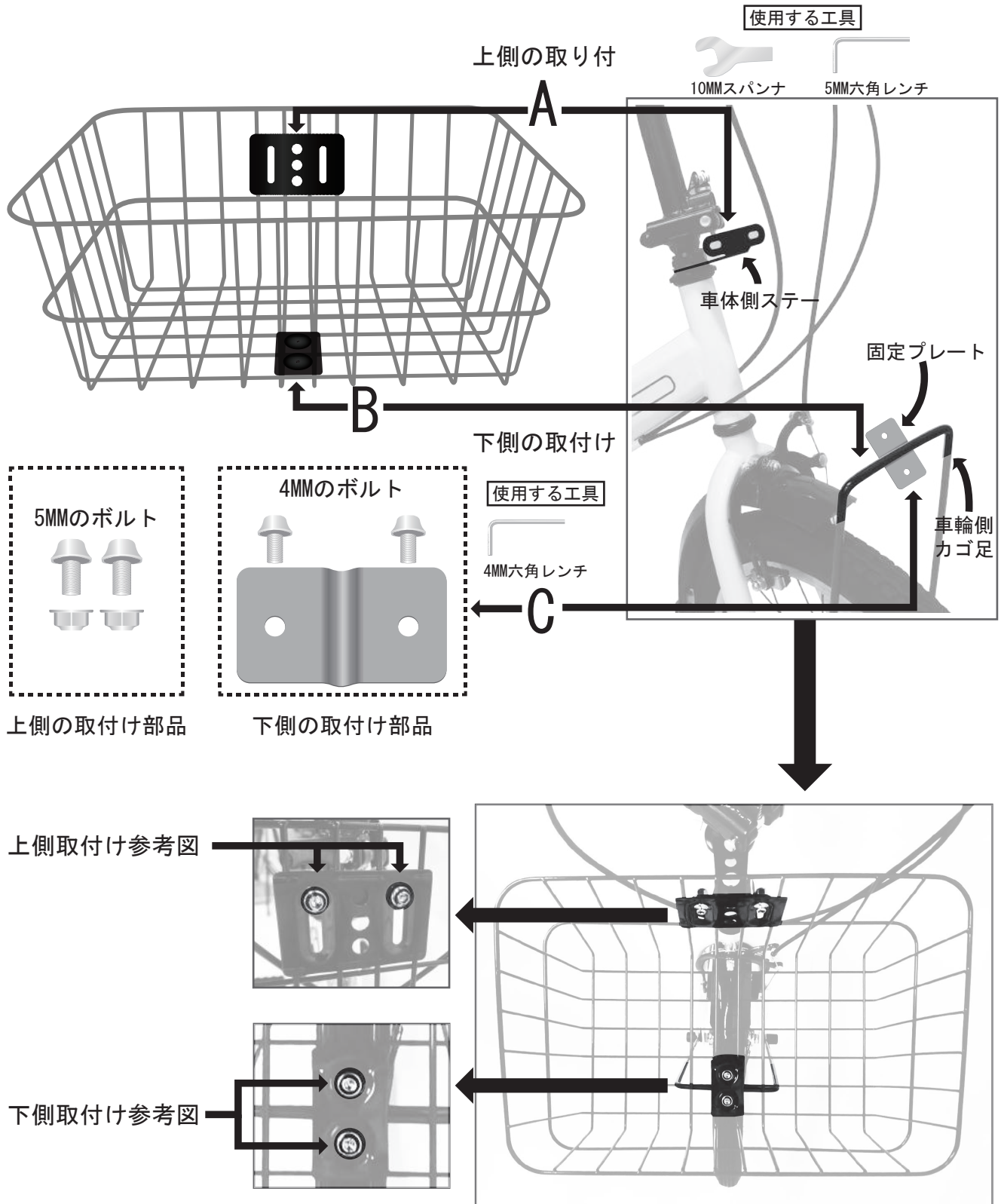
きっちりと締められていない場合、走行中にネジ山がつぶれペダルが脱落する恐れがあり大変危険です。乗車前の点検時にはこの部分も必ず点検してください。また、一旦取付けたペダルは取外さないでください。何度も取付け・取外しを行うと摩耗の原因になります。

### ⚠ 注意

以上で取り付けは完了ですが、この際に取り付けがしっかりされていないと走行中に外れてしまう恐れがあり、大変危険です。充分にご注意ください。毎回、乗車前には必ず固定具合を点検してください。

## 前カゴの取付け

- STEP① 上側（車体ステー側）をネジで仮止めします。
- STEP② 下側からカゴ足をプレートで挟んで、カゴの内側からネジで仮止めします。
- STEP③ 取付けが完了したら上側、下側共に仮止めしたネジを本締めしてください。



## チェンジギアについて

### 「初期伸び」について

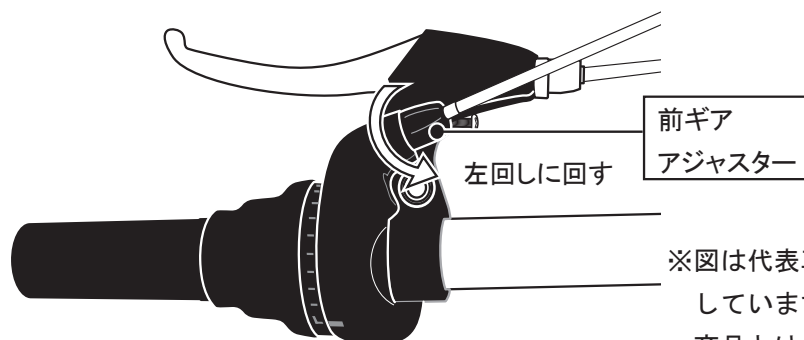
- 「初期伸び」とは  
新車時やワイヤーを交換した際は、少しワイヤーが伸びるため(初期伸び)ギアが入りにくくなる事があります。
- 「初期伸び」の対処方法  
「初期伸び」している場合は、ワイヤーに取り付けられているアジャスターを少し左回しに回していただくと改善できます。  
回しすぎますと逆にトップギアに入りにくくなりますので、様子を見ながら少しずつ調整してください。

### ▲アジャスターの位置

#### 【前ギア】

グリップシフトとワイヤーとの接続部分にあります。

左ハンドル図

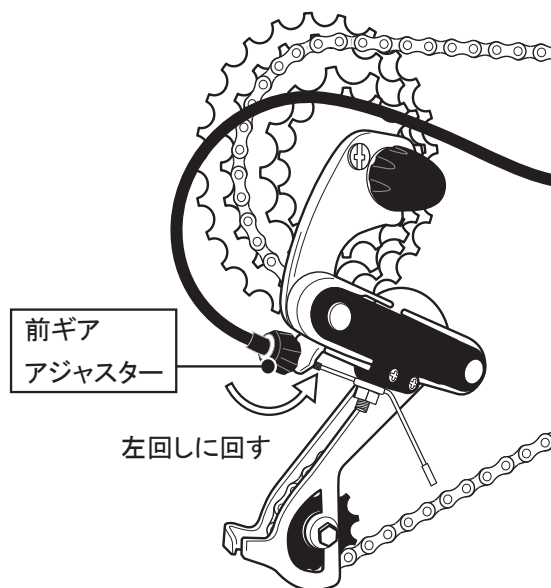


※図は代表車種を引用しています。お客様の商品とは一部異なる場合があります。

#### 【後ギア】

ディレラーとワイヤーとの接続部分にあります。

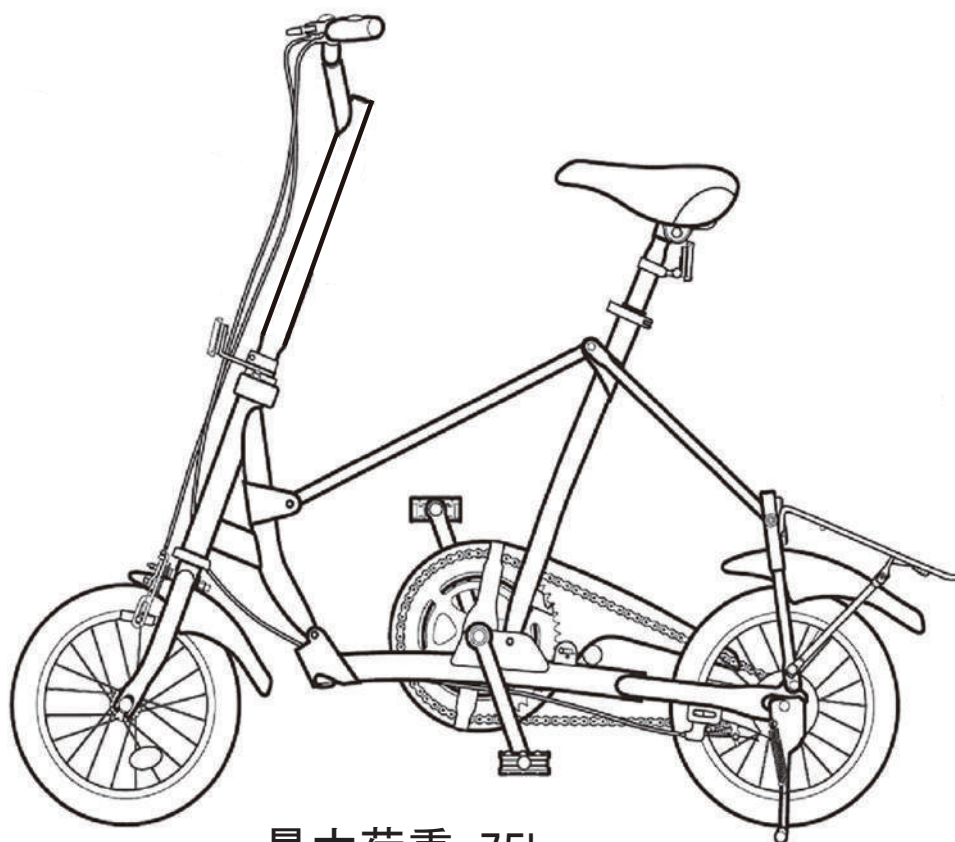
ディレラー図



※図は代表車種を引用しています。お客様の商品とは一部異なる場合があります。

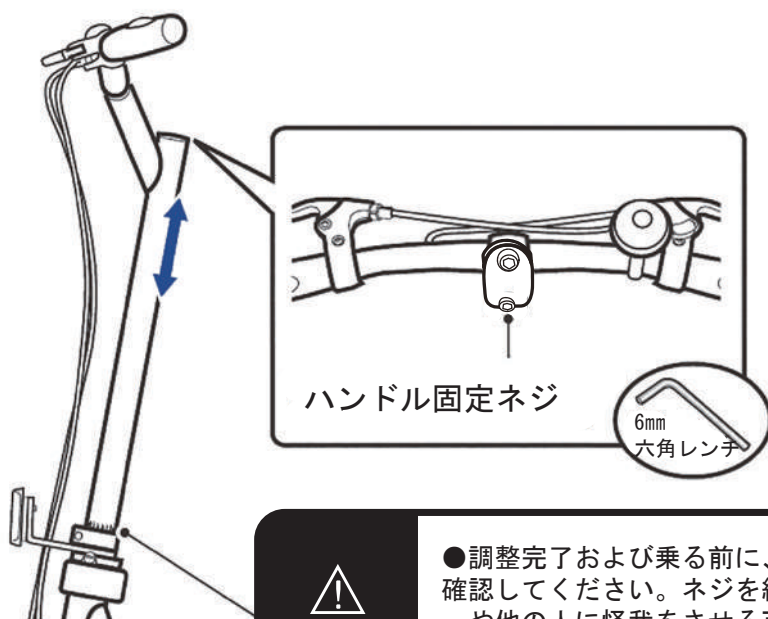
◎もしやり方が分かりづらい場合は当社の問い合わせ先までご連絡ください。

# 【1-step折り畳み式】



最大荷重: 75kg

## ハンドルの取付けと高さの調整方法



ハンドルを入れてから固定ネジをしっかりと締め付けて下さい。ハンドル固定ネジを緩めてハンドルの高さを調整できます。

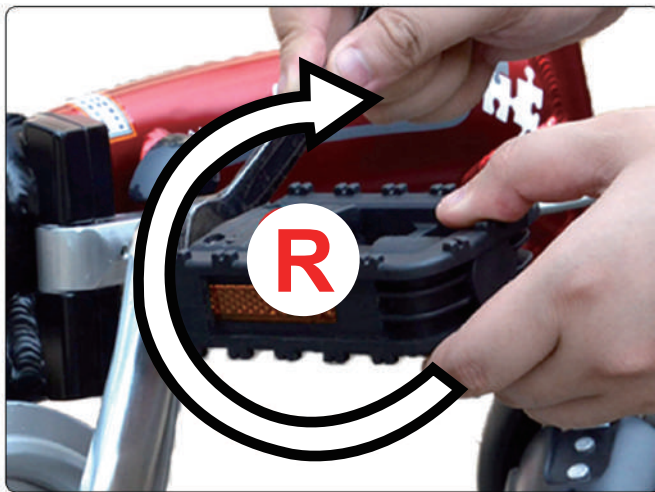
  
**注意**

- 調整完了および乗る前に、ネジが締まっていることを確認してください。ネジを締めずに運転すると、ライダーや他の人に怪我をさせる可能性があります。
- ハンドルステムの「最小挿入マーク」は露出できません。「最小挿入マーク」が見える状態で運転すると、ライダーや他の人に怪我をさせる可能性があります。

## ペダルの取付け



まず左右のペダルを区別し、取り付け前にクランクネジの開口部を合わせ、手で2-3回転ねじ込み、工具でしっかりと締めます。



[必ず調整して締めてください。ペダルを傾けるとネジ山が損傷します]



[必ず調整して締めてください。ペダルを傾けるとネジ山が損傷します]

ルーレットホイールのある側が右側で、(R) 右ペダルを時計回りに締めます。

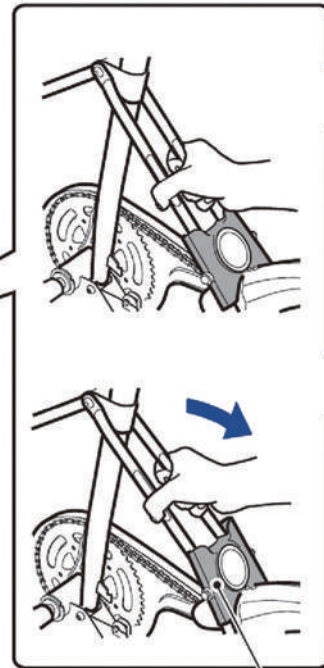
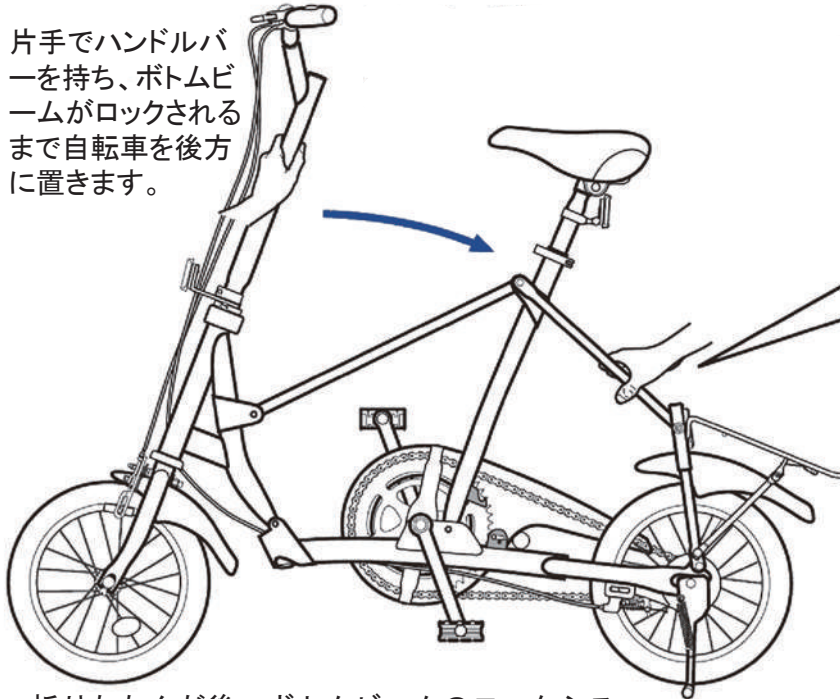
ルーレットのない側が左側にあり、(L) 左ペダルを反時計回りに締めます。

### ご注意

ペダルをしっかり締めてください。ペダルを完全に締めないと、走行中にペダルが脱落し、ペダルやクランクネジに修復不能な損傷を与える可能性があります。当社はペダルを無料で交換することではなく、購入者が責任を負います。

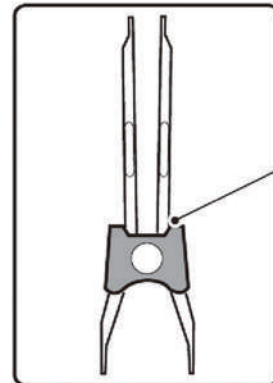
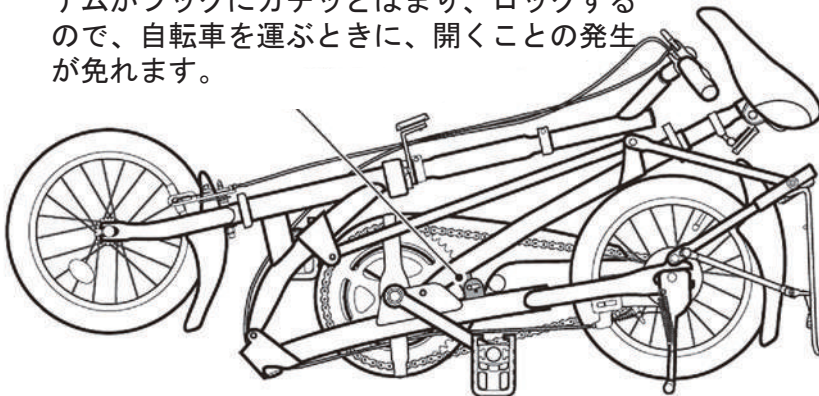
## 折りたたみ方法

片手でハンドルバーを持ち、ボトムビームがロックされるまで自転車を後方に置きます。



2本のロッドを片手で持ち、真ん中でつまんで折り畳み式バッフルのスロットから出させてから、後ろに引きます。

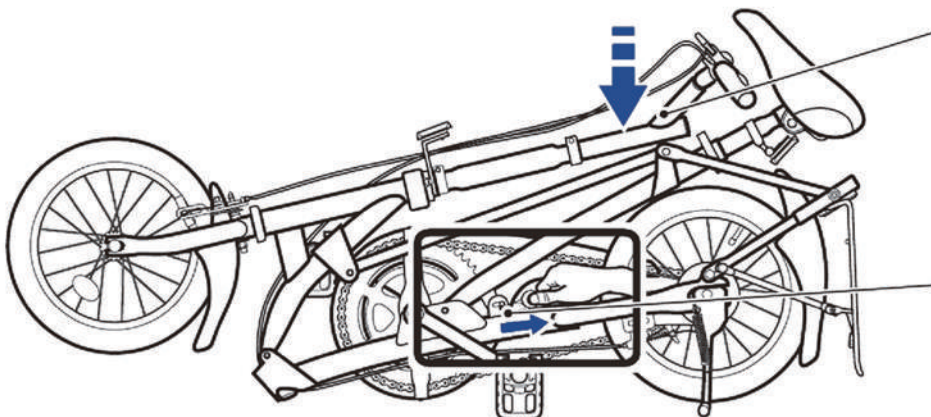
折りたたんだ後、ボトムビームのロックシステムがフックにカチッとハマり、ロックするので、自転車を運ぶときに、開くことの発生が免れます。



### △ 注意

操作中は、指を挟まないように、折りたたみ式バッフルと2本のバーの接続部に手で触れないでください。

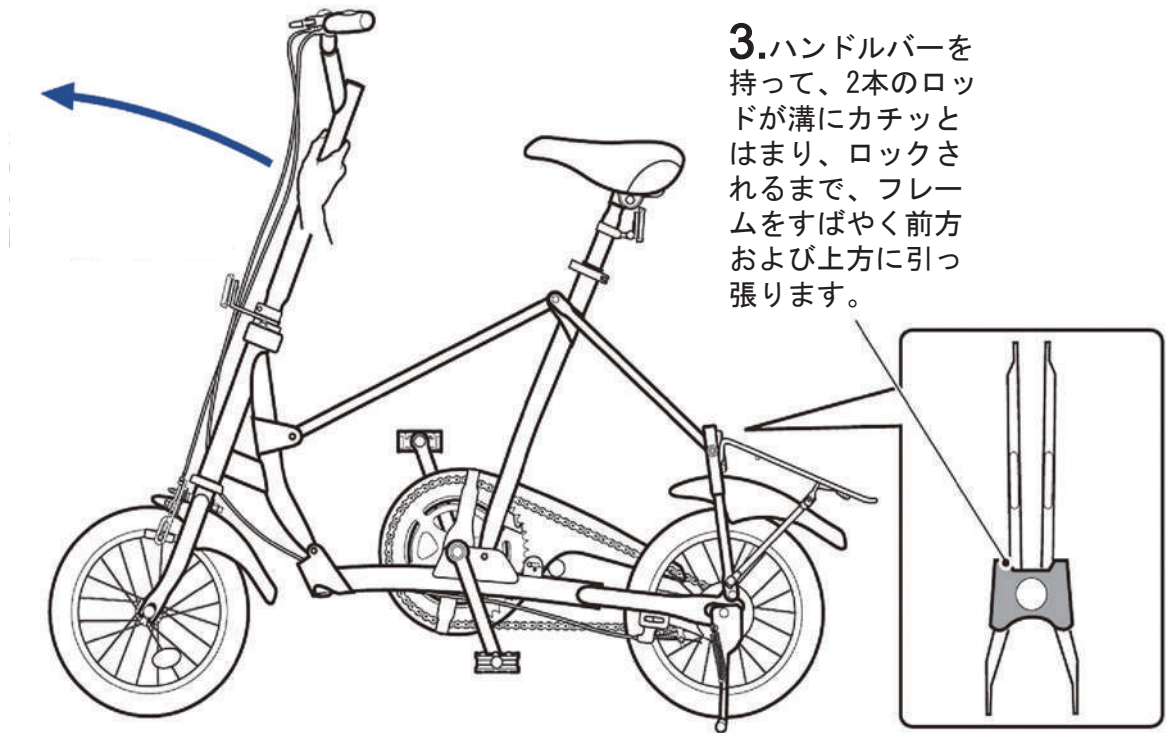
## 展開方法



**1.**折りたたんだ状態で、ハンドルバーを少し押し下げます。

**2.**下のタブを後方に引いて、ラッチを外します。

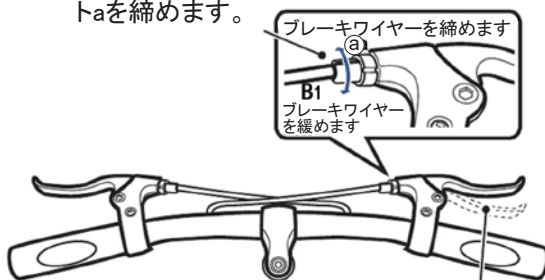
## 【1-step折り畳み式】



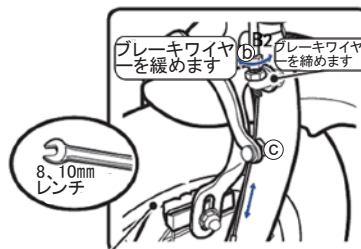
## フロントブレーキの調整方法

\*写真のように調整可能なブレーキレバーを備えているのは一部のモデルのみです。

図に示すように、フロントブレーキはボルトB1を回転させることで微調整できます。調整が完了したら、固定ナットaを締めます。



### クランプブレーキの調整



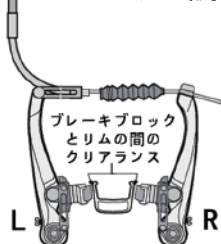
図に示すように、フロントブレーキはボルトB2を回転させることで微調整できます。調整が完了したら、固定ナットbを締めます。

ブレーキワイヤーの固定ナットcを緩めた後、ブレーキワイヤーを広範囲に調整できます。調整が完了したら、固定ナットcをロックします。

### △ 注意

総合調整後、ブレーキレバーはストロークの1/3になり、フロントブレーキが効果的にブレーキをかけます。ブレーキブロックとリムの間の距離は1~2cmでなければなりません。

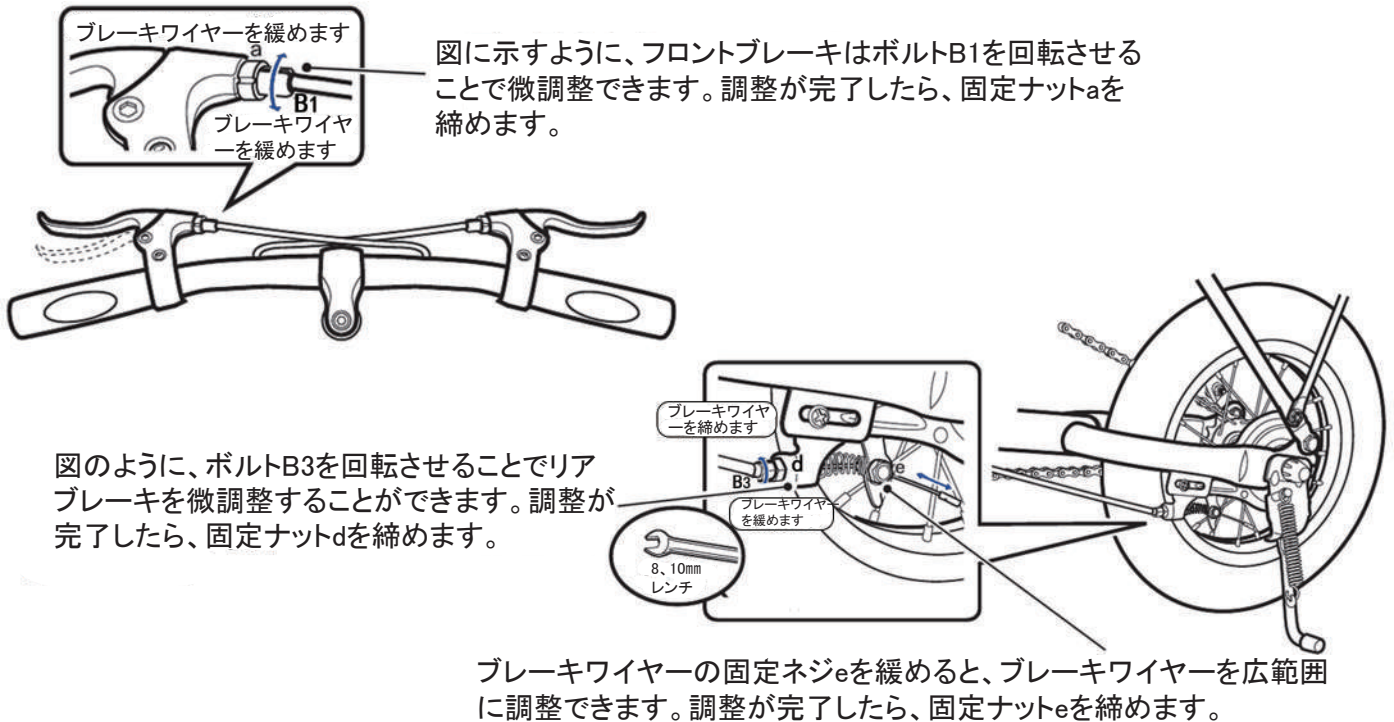
### Vブレーキの調整



ネジRを時計回りに締めて右側のブレーキブロックとリムの間のギャップを増やし、ネジRを反時計回りに緩めると右側のブレーキブロックとリムの間のギャップを減らすことができます。ネジLは左側のクリアランスを調整します。

## リアブレーキの調整方法

※写真のようにブレーキレバーを調整できるモデルは一部モデルのみです。



### △注意

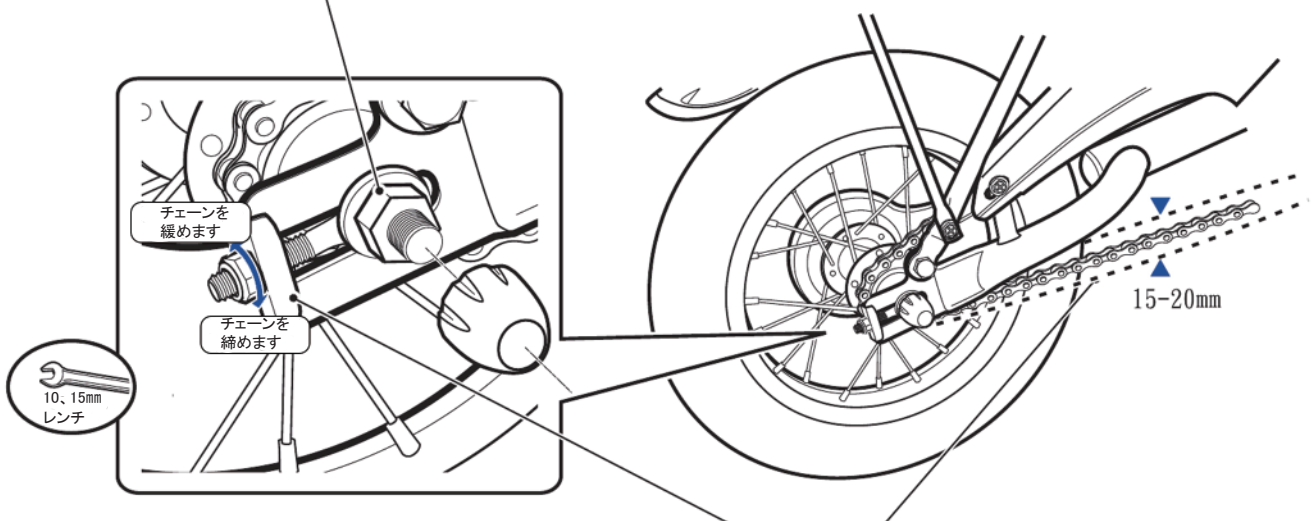
総合調整後、ブレーキハンドルはストロークの1/3になり、リアブレーキは効果的にブレーキがかかるはずですが。

## チェーンの張りを調整する方法

マイナスドライバーを使用してシャフトプラグを慎重に取り外し、後輪を前後に自由に動かすために後輪固定ナットを緩めます。

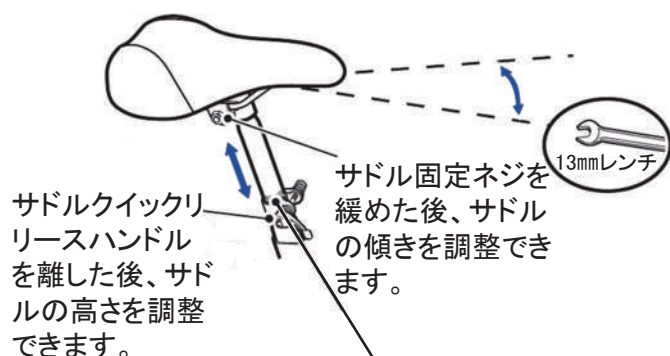
### △注意

チェーンが緩すぎるとチェーンが落ちます。チェーンがきつすぎるとホイールがうまく回転しません。



後輪引きのナットを回して後輪を前後方向に調整し、チェーンの張りを調整します。  
チェーンの上下の自由度は15~20mmである必要があります。

## サドルの傾きと高さの調整



クイックリリースハンドルを閉じた後もシートチューブがライザー内で回転できる場合は、クイックリリースハンドルを再度開き、クイックリリースロックネジを調整する必要があります。



- 「最小挿入マーク」は露出できません。「最小挿入マーク」が見える状態で運転すると、ライダーや他の人に怪我をさせる可能性があります。
- 調整完了および乗車する前に、サドル固定ネジが締められているかどうかを必ず確認してください。シートチューブのクイックリリースが締められているかどうかを確認してください。固定されていない状態で運転すると、ライダーや他の人に怪我をさせる可能性があります。
- サドルチューブを引き抜くときは、サドルチューブのクイックリリースハンドルをロックしないでください。クイックリリースクランプと垂直ビームの上端が変形し、回復できなくなる可能性があります。

## タイヤの空気の入れ方

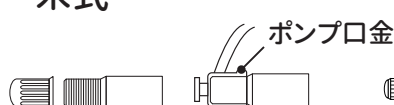
### バルブの種類について

#### 英式



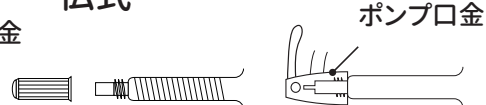
- キャップを外しポンプの口金をプランジャーに押し付けて空気を入れる。
- 空気圧を確認後、口金を外してキャップを付ける。

#### 米式



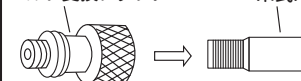
- キャップを外しボディにポンプの口金をはめて空気を入れる。
- 空気圧を確認後、口金を外してキャップを付ける。

#### 仏式



バルブ変換アダプター

米式バルブ



届いた自転車の後輪はバルブ米式から英式変換アダプターが取付いています。

### タイヤの空気圧について

タイヤの空気圧が少ないと、接地面積が広がって抵抗が大きくなるほか、パンクやタイヤ・リムの損傷の原因になります。タイヤに表示されている空気圧の範囲でご使用ください。

表示例 ・ ・ ・ [〇〇〇kPa、〇〇kgf/cm<sup>2</sup>、〇〇PSI]

(注) 換算率 ・ ・ ・ 1kPa=0.01kgf/cm<sup>2</sup>=0.145PSI

※タイヤゲージがない場合は自転車に乗車した接地長で判断してください。接地面9～10cm程度が適当です。

# 自転車の乗車前チェック

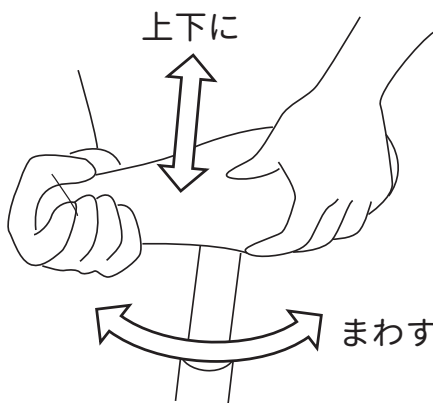


## 警告

自転車に乗車される際は、必ず自転車をチェックしてください。異常がある場合は即座に乗車を中止し、きちんと整備をした後にご乗車ください。  
※点検ができないお子様のために必ず保護者が行ってください。

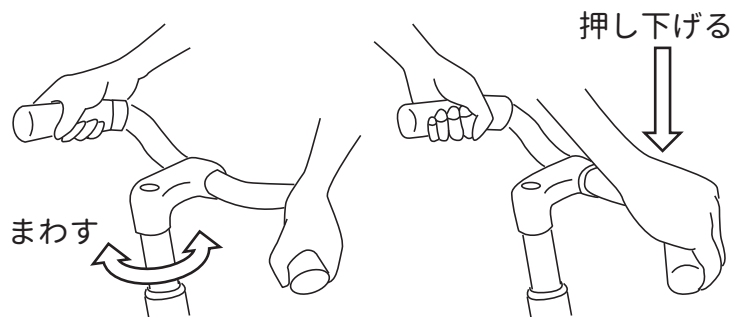
### ■サドルはしっかり固定されていますか？

上下、左右及び前後にガタや動きがないか。フレームと真っ直ぐに取り付けてあるか。固定の確認は、大人の方がサドルの前後を持って上下左右に力を加えて動きのないこと。必ず限界標識線が見えていないことを確認してください。



### ■ハンドルはしっかり固定されていますか？

がたつきがないか前輪に対して直角に取り付いているか。固定の確認は、大人の方が左右のハンドルグリップ部を持って前輪を両足にはさみ上下左右に回そうとしても動かないこと。グリップがゆるんでいないか。また、図のように両手で下に力を加えても動かないこと。必ず限界標識線が見えていないことを確認してください。

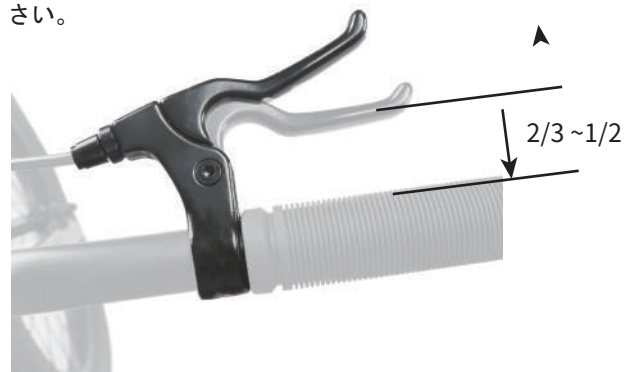


### ■タイヤの空気圧は十分ですか？

空気圧が低すぎるとタイヤの損傷が早く、パンクの原因なり、また車輪の回転が重くなります。空気圧はタイヤの側面にご推奨空気圧が記載されています。

### ■ブレーキはよく効きますか？

ブレーキレバーを握って自転車を押し進めた時、ブレーキレバーとグリップの間が $\frac{2}{3}$  ~  $\frac{1}{2}$ になるまでにブレーキが効きますか。また、ブレーキレバーの取付台のゆるみやガタがないかどうか確認してください。ブレーキレバーの作動には特に注意し、ワイヤーのサビ、折れ曲がりがないか。サビや折れ曲がりがあると、ブレーキレバーの作動が重かったり、ブレーキが効かないことがあります。またブレーキの効きにも注意してください。



### ■タイヤはパンクしていませんか？

乗車前にパンクしていないか確認してください。空気を入れても、正常な空気圧が得られないときはバルブがゆるんでいないか。バルブを取り外し、虫ゴムが傷んでいないか。タイヤを1回転して、釘や鋸がささっていないか。破損や切り傷がないか。

### ■各部のネジはゆるんでいませんか？

自転車の前輪と後輪を別々に持ち上げて（10 ~ 20cm）軽く落として異音や取り付けのずれはないかを確認します。異音がある場合はネジやナットがゆるんでいる可能性があります。

### ■安全な服装で

車輪に巻き込まれやすい服装はしない。  
○ズボンのすそ汚れやチェーンの巻き込みを防止するためズボンはズボンバンドでとめてください。  
○靴はかかとと低い滑らかなものを履いてください。

## 【乗車前チェック】

### ■ フレームやパーツ各部に変形やひび割れ等はないか？

○フレームやフロントフォークに変形やひび割れ等はないか。

○車輪にゆがみはないか。

### ■ 乗る練習は

練習をするときは常にヘルメットを着用してください空き地や公園などの安全な場所でしましょう。

### ■ 手やハンドルに荷物を引っかけてりペットをつなげない

荷物やヒモが車輪に巻き込まれたり、バランスを崩し転倒し、ケガの恐れがあります。

### ■ バスケットにペットを乗せない

ペットが急に飛び出し大変危険です。

### ■ ニギリのゆるんでいるものには乗らない

ニギリの弾性が低下し、回る物はハンドルから抜ける恐れがあり大変危険です。自転車販売店ですぐに取り替えてください。

### ■ 山岳・河川などでは絶対に使用しない

ハンドル？フレームなどが折損したり、ブレーキが効かなくなったりして、転倒の恐れがあります。これらの場所、または類似する場所では走行しないでください。

### ■ パンクした状態で乗らない

パンクした状態で自転車に乗ると、リムやスポークが変形したり、タイヤが外れて大変危険です。

### ■ 歩行者に危害を及ぼす恐れのある突起物などを自転車取り付けしてはいけません。

### ■ 必ず点検をしてください

乗る前には必ず点検をしてください。点検については本書をよく読んで点検してください。分からない点は担当者に相談してください。

### ■ 視界の悪いときは乗らない

見通しが悪いと、衝突や転倒の恐れがあります。

### ■ 凹凸の激しい所を走らない

ハンドルがとられたりふらついたりするうえ、タイヤ・リムを損傷します。

### ■ 回転部には触れない

前・後車輪、ギヤクランク、チェーン部）が動いているときは手、足で触れないでください。特に調整やお子様が遊んでいるときなどに回転部に手や足を触れないよう注意してください。

### ■ シートポスト及びハンドルポストの限界標識を越えての乗車をしない

シートポスト及び、ハンドルポストの限界標識線がフレームの中に隠れる状態でお乗りください。サドルやハンドルの折れや抜けにより転倒し、ケガをする恐れがあります。

### ■ 異常があるときは乗らない

点検せず異常のあるままで走行すると事故や転倒によるケガの恐れがあります。

### ■ 車輪の脱着やサドル・ハンドルの調整後、締め付けを確認せずに乗らない

車輪やサドル・ハンドルが外れ転倒によるケガの恐れがあります。

## 保証について

### 1. 保証修理を受けるための手続き及び条件

保証修理をお受けになる場合は、ご購入履歴と保証修理を求める自転車の問題写真を、お買い上げ店または当社カスタマーサービスメールへ、ご連絡いただき、保証修理をお申し付けください。ご購入履歴がないときは保証修理をお受けできません。

※初期不良の場合は、7日間以内にご連絡ください。

※保証期間は、お買い上げ日より半年間となります。

※ご贈答・ご転居および他に譲渡する場合は、お買い上げ店または当社カスタマーサービスにご相談ください。

※お買い上げの日から1ヶ月以内に点検をお受けください。以降年1回定期点検整備をお受けください。定期点検・調整費用はカスタマー自己負担です。

※この保証書は日本国内で使用される自転車で、車体番号の刻印があるものに適用されます。海外に持ち出す場合は、その時点で打ち切りとなります。(This warranty is valid only for JAPAN.)

※出張修理は行っておりませんのでご了承ください。

※保証修理に関するお問い合わせは、お買い上げ店または当社カスタマーサービスにご相談ください。

### 2. 保証できない事項

(A) 次に示すものに起因すると判断される故障は保証対象外です。

1. 取扱説明書に従わない使用、取扱不注意(乗車定員、最大積載量などのオーバーならびに警告・注意・禁止・強制等厳守事項の無視など)による場合。
2. 衝突・転倒・道路の段差等への乗り上げまたは溝などに落ちて生じたもの。
3. 法令の違反行為により生じたもの(二人乗り、最大積載量オーバー・夜間無灯火等)。
4. 保守・整備の不備、または間違いにより生じたもの。
5. 当社が指定する定期点検調整を実施しなかった場合。
6. 使用者が構造・機能を改造または変更したために生じたもの(当社で設定した部品以外を使用した場合。)
7. レース・ラリー・トライアル・練習等の酷使および、一般に自転車が走行しない場所での走行(道のない山岳ツーリング、土手の傾斜面等)により生じたもの。
8. レンタルサイクルなど不特定多数で使用される場合。
9. 地震・落雷・火災・水害・公害・その他人災・天災・地変によって生じたもの。
10. 手入れ不十分。保管場所の不備および時の経過により生じた不具合(メッキ・塗装・カラー部品の自然褪色・サビ)、およびプラスチック部品等の自然褪色。
11. 部品の通常の磨耗または疲労と認めたもの(タイヤ・チューブ・ブレーキ用ゴム等のゴム類)。
12. くぎ・ビン・ガラス・切削くず・鋭利な石ころ・リム打ち・いたずら等で生じるパンク。
13. 一般に機能上問題のない感覚的現象(音・振動)。
14. ペダルの取り付け不備による故障。
15. 使用中に発生した塗装傷・フレームなどの変形。

(B) 次に示すものの費用はお客様のご負担となります。

1. 保証対象外部品、およびその交換費用(ブレーキゴム、ワイヤー、タイヤ等の磨耗による交換等)。
2. 点検(定期点検を含む)整備、清掃等の費用。
3. 本保証書に示す条件以外の費用。
4. 本製品の故障に起因する付随的費用(本製品を持ち込むために要した費用、修理期間中における代品費用等)。

(C) ～保証修理対象外部品～(次の交換修理はご使用者負担)

タイヤ・チューブ・スポーク・ブレーキゴム・泥よけ・パット類・グリップ・フラップ・フレームポンプ・ロ金・カゴ・バッグ・バルブセット・サドル・サドルポスト・ドレスガード等の付属品・ペダルゴム・トゥクリップ・バーテープ・エンドプラグ・リフレクター類・ハブキャップ・ベル・ブレーキワイヤー・ギヤチェンジ用ワイヤー・ワイヤー取付金具、コード類・ダイナモゴムローラー・荷台・チェーンカバー・スタンド・カギ・バックミラー・乾電池・電装品・電球・レンズ・工具・小ネジ・ナット・スプリング・ゴムおよび樹脂製の部品・磨耗品および疲労品など。

## 【防犯登録について】

# 防犯登録について

平成6年6月20日より自転車基本法（省略）が改正され、防犯登録が自転車利用者の義務となりました。防犯登録をご希望の方は、お近くの「防犯登録所（自転車販売店）」にて手続きが出来ます。

## 防犯登録を受ける際、必要になるもの

- ① お求めいただいた自転車本体
- ② 販売証明書
- ③ お客様の身分証明になるもの（運転免許証・健康保険証・学生証など）

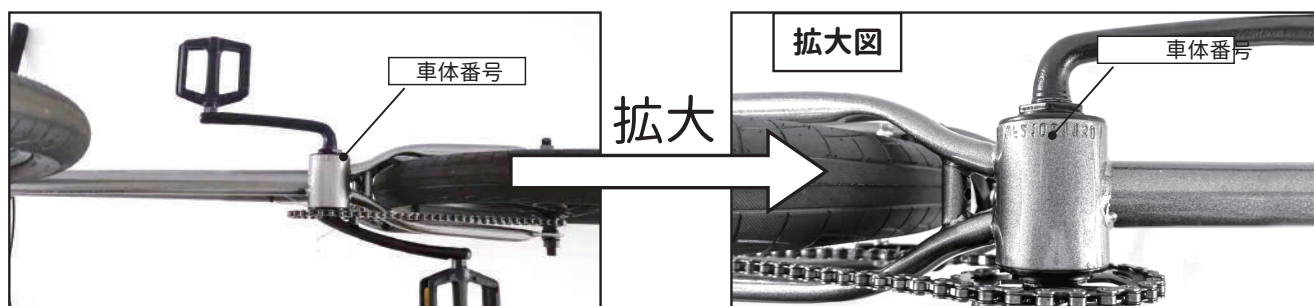
※防犯登録を受ける際は別途手数料が必要となります。（お客様のご負担になります。）

その他、防犯登録についてご不明な点がございましたら最寄りの各都道府県防犯登録協会（自転車商協同組合）にお尋ねください。

大阪自転車商防犯協力会 TEL06-6621-5350

東京自転車商防犯協力会 TEL03-3251-8446

※防犯登録を受ける際に自転車の車体番号を登録します。車体番号の印字箇所については下図をご参照ください。



## 販売証明書

|                    |            |
|--------------------|------------|
| 購入者住所              |            |
| ふりがな               |            |
| 購入者氏名              |            |
| 輸入元（メーカー）<br>及び販売元 | 浙江迈姆贸易有限公司 |
| 車種                 |            |
| カラー                |            |
| 車体番号               |            |

上記自転車は当社が販売したものであることを証明致します。

年 月 日（受取日）



## お問い合わせ先

メモ商事

〒311800

中国浙江省紹興市諸暨市

問い合わせメール：

support@memocycles.com

受付時間: 9:00～12:00、13:00～17:00（土日祝祭日を除く）

弊社では、相談内容の適正さを確保するため、内容を全て記録させていただいております。



You Tube<sup>JP</sup>

memocycles



### ⚠ 注意

- この度はお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この商品を正しく安全に使用していただくために、お使いになる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 自転車組立のオンラインマニュアルをご用意しております。モデル別に動画と静止画にて詳しく解説しております。
- 間違った取り扱いや調整は事故につながる恐れがありますので、警告・禁止・注意・強制事項を必ず守ってください。
- 乗車前の「日常点検」を必ず実行してください。
- 取り扱いがわからないときは販売店にご相談ください。
- 子供または幼児が使用する場合には保護者の方が使用上の注意事項を教えてあげてください。
- 自転車は組み立て品につき、未完成の状態でのお届けとなっております。未完成部分はお客様にて組み立てが必要となります。組み立てにはある程度の技術が必要となります。本書をよくお読みの上、手順に従って組み立ててください。
- 万が一、不具合があった場合、ご使用後の商品につきましては交換対応致し兼ねますので、必ず乗車前点検を行ってください。

本書をいつでも再読できるように大切に保管してください。

※製品改良のため、予告なくデザイン及び仕様を変更することがあります。